

学年	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12)
組	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20)
番号 10位	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (0)
番号 1位	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (0)
氏名	



I 生きて働く知識・技能

1	(1) (2) (3) ● (5) (6)	7	(1) (2) (3) (4) (5) ●	13	● (2) (3) (4)
2	(1) (2) (3) ● (5) (6)	8	(1) ● (3) (4) (5) (6)	14	(1) (2) (3) (4) ● (6)
3	(1) (2) (3) (4) ● (6)	9	(1) ● (3) (4) (5)	15	(1) (2) ● (4)
4	(1) (2) (3) ● (5) (6)	10	(1) (2) ● (4) (5) (6)	16	(1) (2) (3) ● (5) (6)
5	(1) (2) ● (4) (5) (6)	11	(1) (2) (3) (4) ● (6)	17	(1) (2) (3) ● (5) (6)
6	(1) (2) (3) (4) ●	12	(1) (2) (3) (4) (5) ●	18	(1) ● (3) (4) (5)

II 活用・評価する力

1	(1) (2) (3) ●	3	(1) (2) (3) (4) ● (6)	5	(1) (2) (3) ● (5) (6)
2	● (2) (3) (4)	4	(1) ● (3) (4) (5) (6)	6	(1) (2) (3) (4) ● (6)



III ↓ (下の3つは先生がマークしますので、マークしないでください。解答らんはうらにあります)

1	(1) (2) (3) (4)	2	(1) (2) (3) (4)	3	(1) (2) (3) (4)
---	-----------------	---	-----------------	---	-----------------



III-1 平成 27 年度全国学力・学習状況調査 数学B 6より出題

正答の条件 条件①②⑤又は条件③④⑤を満たすものを正答とする。

- 条件① アを選択している。
 条件② 表の数値の変化や対応をみること又は比例定数を求めることのいずれかを記述している。
 条件③ イを選択している。
 条件④ 式に値を代入することを記述している。
 条件⑤ y の値が8のときの x の値を求めることを記述している。

採点基準

条件①②⑤又は条件③④⑤において、

- ① 条件を一つも満たしていないが無答ではない。
- ② 条件を1つ満たしている。
- ③ 条件を2つ満たしている。
- ④ 条件を3つすべて満たしている。
(無答のときはマークしない)

正答例

(選んだ記号)

ア 又は イ

(説明)

アを選択した場合の例

表の変化の割合を調べて、 y が8のときの x の値を求める。

イを選択した場合の例

中心角の大きさと半径の長さの関係を表す式に $y = 8$ を代入して、 x の値を求める。

(参考) H 2 7 全国学調解説資料 P.120~124

http://www.nier.go.jp/16chousa/pdf/16kaisetsu_c_huu_suugaku.pdf

III-2 平成 30 年度全国学力・学習状況調査 数学B 2より出題

正答の条件 条件ABC又は条件DEFを満たすものを正答とする。

- 条件A $(n-4) \times 3 + n = 4(n-3)$ と書いている。
 条件B $n-3$ が整数であることが書かれている。
 条件C $4(n-3)$ は4の倍数であることが書かれている。
 条件D $(n-4) \times 3 + n = 4n-12$ と書いている。
 条件E $4n$ 、 12 が4の倍数で、4の倍数の差は4の倍数であることが書かれている。
 条件F $4n-12$ は4の倍数であることが書かれている。

採点基準

条件ABC又は条件DEFにおいて、

- ① 条件を一つも満たしていないが無答ではない。
- ② 条件を1つ満たしている。
- ③ 条件を2つ満たしている。
- ④ 条件を3つ満たしている。
(無答のときはマークしない)

条件ABC の 正答例

$(n-4) \times 3 + n = 4(n-3)$
 $n-3$ は整数だから、 $4(n-3)$ は4の倍数である。
 したがって、はじめの数としてどんな整数をいれても、計算結果はいつでも4の倍数である。

条件DEF の 正答例

$(n-4) \times 3 + n = 4n-12$
 $4n$ 、 12 が4の倍数で、4の倍数の差は4の倍数だから、 $4n-12$ は4の倍数である。
 したがって、はじめの数としてどんな整数をいれても、計算結果はいつでも4の倍数である。

(参考) H 3 0 全国学調解説資料 P.103~109

http://www.nier.go.jp/18chousa/pdf/18kaisetsu_chuu_suugaku.pdf

正答の条件

<グラフを用いる場合>

条件 A ① 直線のグラフをかいて利用することが書かれている。

条件 A ② y 座標が 1500 のときの x 座標を読むことが書かれている。

<式を用いる場合>

条件 B ① 一次関数の式を求めて利用することが書かれている。

条件 B ② 一次関数の式に $y = 1500$ を代入して、 x の値を求めることが書かれている。

<表や数値を用いる場合>

条件 C ① 表や数値を用いて変化の割合を求めて利用することが書かれている。

条件 C ② 貯水量が 1500 万 m^3 になるまでの、5 月 31 日から経過した日数を算出することが書かれている。

採点基準

条件 A ①②又は条件 B ①②又は条件 C ①②のいずれかにおいて、

- ① 条件を一つも満たしていないが無答ではない。
- ② (なし)
- ③ 条件を 1 つ満たしている。
- ④ 条件を 2 つ満たしている。

正答例

<グラフを用いる場合>

直線のグラフを書き、 $y = 1500$ のときの x 座標を読む。

<式を用いる場合>

y を x の一次関数の式で表し、その式に $y = 1500$ を代入し、 x の値を求める。

<表や数値を用いる場合>

表の数値を用いて変化の割合を調べ、その変化の割合で貯水量が 4140 万 m^3 から 1500 万 m^3 になるまでの、5 月 31 日から経過した日数を計算する。

(参考) H 2 9 全国学調解説資料 P.108~114

http://www.nier.go.jp/17chousa/pdf/17kaisetsu_chuu_suugaku.pdf